2009年　冬号

公立藤岡総合病院

地域医療連携だより

病院の理念
患者本位の医療

基本方針
1.患者様の意思を尊重し信頼される医療を提供します。
2.地域中核病院として高度な医療と救急医療の充実に努めます。
3.急性期病院として関係機関と連携し地域医療連携の充実を目指します。

新年を迎えて

病院長　鈴木　忠

明けましておめでとうございます。

昨年の米国を震源とする金融危機にはじまる影響が、安全・安心の社会基盤の脆弱化したわが国の社会を直撃し、医療の分野はもとより社会全体を重苦しい空気で覆っている状況のなか、新年こそ展望のある希望の年に変化することをせつに願うものです。

国の医療計画では、少子高齢化にあって生活の質向上と安心の医療確保に向けて、４疾病及び５事業に係わる医療提供体制の構築のため医療機関の機能分担と連携による医療連携体制の確立が押し進められているところでありますが、当院においては昨年は地域連携パスをもちいた脳卒中の診療に取り組み急性期から慢性期へシームレスな診療の確立に取り組みました。

院内・外の一連の診療がそこに関わる医療者に可視化されたことによる効果は大きく、その成果を当院で開催された地域連携パス大会で発表させていただきました。これも地域医師会はもとより近隣の医療機関のご協力のたまものと感謝いたします。

また、医師不足による病院医療の崩壊が大きな問題となっており、当院も対岸の火事といってはいられない状況ですが、幸いにも皆様のご協力によりましておおきな問題を生じることなく、地域の中核病院としての責務を果たすことができたと考えております。

厳しい環境ですが、地域医療の確保には、より一層の連携が必要であります。今後とも医療に関わる者同士の顔の見える地域医療連携をめざして取り組みますのでよろしくお願いいたします。

皆様方のご活躍を祈念し、新年の挨拶といたします。

年頭にあたって

看護部長　五十嵐　克子

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。平素より大腿骨頸部骨折および脳卒中連携パスの推進、NST・褥瘡の合同症例検討会等の地域連携への取り組みにご支援、ご協力を頂き誠にありがとうございます。関係職員一同、心より感謝申し上げます。

昨今の病院に対する患者ニーズの高まりは、これまで以上に医療に対する安心と信頼、質の高い医療サービスの提供が求められており私達、看護職の果たす役割はますます重要となってきております。現在の医療危機および健康格差の問題の緩和に貢献できるよう「切れ目のない医療」を目指して、より一層地域医療連携を強化し取り組んで参りますので皆様のご指導、ご鞭撻をお願い申し上げ年頭のご挨拶にかえさせていただきます。

地域の皆さんへの情報誌『ささえあい』創刊のご案内

この度、地域の医療機関向けに発行している『地域連携だより』に加え、地域のみなさんへの情報誌『ささえあい』を発行いたします。（年2回程度）

『ささえあい』では、より身近に感じることができるよう地域の皆さんに当院の紹介をしたり、医師やスタッフによる医療に関する豆知識などを掲載していく予定です。

なお、地域の医療機関をご紹介する企画なども考えております。地域の医療機関様の中で掲載をご希望される場合は是非、地域医療連携課までご連絡ください。

また、待合室などで配布していただける様な事がございましたら、必要部数をご連絡いただければお届けいたします。

医療福祉相談窓口より

地域医療連携課の相談窓口には医療福祉相談窓口とがん相談支援センターがございます。
医療福祉相談窓口は日頃、地域の医療機関及び福祉施設の皆様方のご理解、ご協力のもと転院・施設援助などを主としたご相談を受けております。また他にも様々なご相談がございます。今回は、医療福祉相談窓口業務についてご紹介いたします。
～がん相談支援センターにつきましては次回ご紹介いたします～

ご相談内容（例えばこんな時）

公立藤岡総合病院

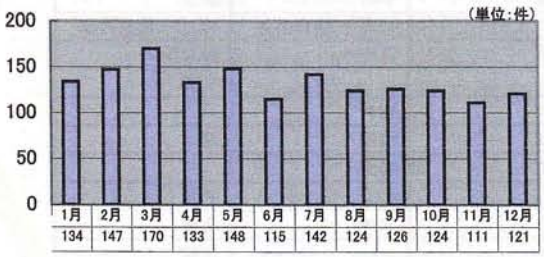
附属外来センター

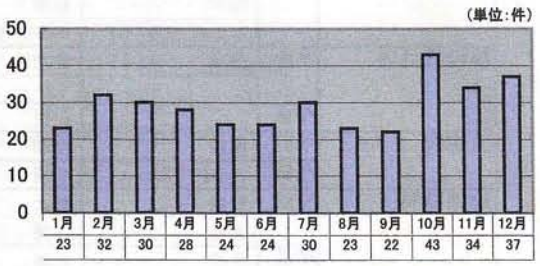
＊病気や療養上のことが心配
＊医療費など経済的なことが心配
＊転院援助
＊利用できる病院や施設をおしえて欲しい
＊退院後の生活や介護について相談したい
＊社会保障制度の手続き方法（健康保険、障害手帳、介護保険、年金など）について知りたい
＊受診に関する相談
＊医療に対する疑問、不安、苦情など

平成20年　公立藤岡総合病院

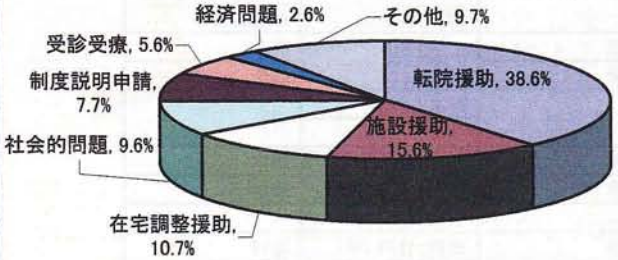
平成20年　附属外来センター

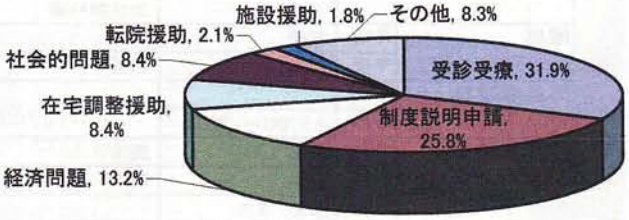
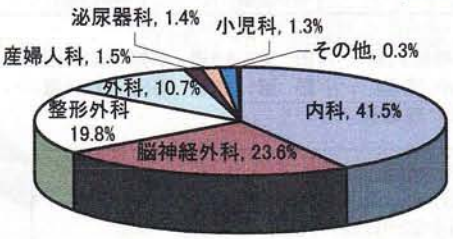
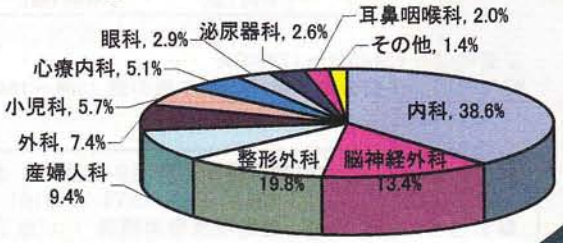
相談実件数の推移





相談内容別割合





相談診療科別割合